

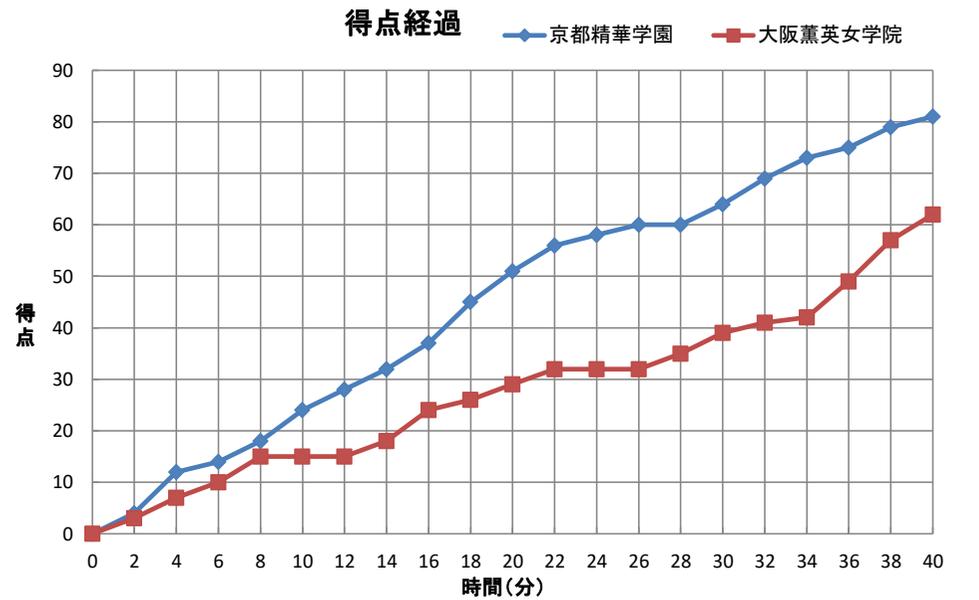


# 第71回近畿高等学校バスケットボール大会

## 個人トータル表

<b>女子</b>		令和6年6月23日		9:30 開始													
<b>準決勝</b>		和歌山ビックホエール		A													
◎ 京都精華学園 81 (京都)		<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>24</td><td>1st</td><td>15</td></tr> <tr><td>27</td><td>2nd</td><td>14</td></tr> <tr><td>13</td><td>3rd</td><td>10</td></tr> <tr><td>17</td><td>4th</td><td>23</td></tr> </table>		24	1st	15	27	2nd	14	13	3rd	10	17	4th	23	62 大阪薫英女学院 (大阪)	
24	1st	15															
27	2nd	14															
13	3rd	10															
17	4th	23															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	林 咲良	12	2	2	2	1	* 4	幡出 麗実	0	0	0	0	0				
* 5	橋本 芽依	4	0	1	2	2	5	三輪 美良々	-	-	-	-	-				
* 6	桃井 優	17	1	6	2	1	* 6	的場 梨緒	4	0	2	0	0				
7	大久保 舞奈美	-	-	-	-	-	* 7	富田 涼々野	0	0	0	0	0				
8	山口 優利亜	0	0	0	0	0	8	岩井 萌	19	3	4	2	3				
9	金丸 千蓮	-	-	-	-	-	9	荒木 琉伽	5	1	1	0	0				
10	吉田 ひかり	0	0	0	0	1	10	下崎 好	4	1	0	1	2				
11	石井 日菜	0	0	0	0	1	* 11	杉山 もも	7	1	2	0	0				
12	谷 彩南	7	1	2	0	0	12	小俣 亜矢	13	1	5	0	0				
13	満生 小珀	0	0	0	0	1	13	細澤 幸生	5	1	1	0	0				
14	金谷 悠加	0	0	0	0	0	* 14	黒川 春陽	3	0	1	1	4				
15	ンガルラ リヤ	14	0	7	0	0	15	西澤 楽菜	-	-	-	-	-				
* 16	石渡 セリーナ	4	0	2	0	0	16	宮武 明月	-	-	-	-	-				
17	坂口 美果	0	0	0	0	1	17	松本 璃音	2	0	1	0	1				
* 18	ユサフ ボランレ	23	0	11	1	3	18	杉山 紗渚	-	-	-	-	-				
コーチ	山本 綱義						コーチ	安藤 香織									
Aコーチ	豊田 薫						Aコーチ	長渡 由子									
合計		81	4	31	7	11	合計		62	8	17	4	10				
クルーチーフ: 小出 聡子																	
アンパイア: 太田 令菜      北山 拓海																	

## 得点経過



TO	1・2Q	3・4Q		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	6:54	14:54	33:51	:	:	:	:

**[ 戦 評 ]**

**[第1Q]**  
 決勝進出をかけた試合、京都精華学園高校は#4#5#6#16#18、対する大阪薫英女学院高校は#4#6#7#11#14でスタート。開始早々京都精華#18がリング下で得点すると、薫英#11が鋭いドライブインで入れ返す。素早い攻防が続くが京都精華#18にリバウンドから押し込まれ、10対2で薫英1つ目のタイムアウト。ディフェンスプレッシャーを強めた薫英がリズムを取り戻し、徐々に点差を縮めるも再び精華#18にリバウンドシュートを押し込まれ24対15京都精華リードで1Q終了。

**[第2Q]**  
 第2Q開始早々、京都精華#6のフリースロー、#18のリング下で連続得点、対する薫英もパスワークからドライブインで崩していくが相手の高さでシュートミスが続く。京都精華#12の3Pシュートや速攻での連続得点、#18のリング下などで徐々に点差が開き51対29京都精華リードでハーフタイムへ。

**[第3Q]**  
 第3Q、両チームディフェンスは変わらずマンツーマンでスタート。開始早々京都精華#18のリング下、#6の3Pシュートなどで得点を重ねる。薫英もディフェンスで相手のパスミスを探いチャンスを作るも得点に結びつかない時間帯が続く。64対39京都精華がリードを広げて3Q終了。

**[第4Q]**  
 薫英高校は第4Q開始から#11#17がディフェンスでプレッシャーをかけパスミスを探い相手に食らいつく。京都精華のシュートが落ちだすも#18がリバウンドから押し込み、なかなか点差が縮まらない。薫英はさらにプレッシャーを強め3Pシュートで反撃するも、京都精華が81対62で勝利し決勝進出を決める。

戦評: 宮本 浩次      記録: 向陽